

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	6		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		個別療育・集団療育の活動スペースはわかりやすく分けており、室内は段差が少なく、バリアフリーに対応しております。また、児童の特性に合わせたわかりやすい情報伝達手段を工夫しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		整理整頓や清掃、消毒を心がけ、清潔で心地よく過ごせる環境づくりを心がけております。児童にとって安心安全な生活空間を意識しております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個々の特性や課題、その日の状況に応じて、臨機応変に個室の利用ができるように対応しております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		全職員が業務に関する課題を出し合い、改善策について話し合う機会を設けております。また話しやすい空間となるよう心がけております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		定期的にアンケートによる評価を実施しております。いただいたご意見やご要望は、検討し、順次改善へつなげてまいります。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の昼礼や定期的なミーティングを実施し、職員間の意見交換や情報共有の場を設け、業務改善へつなげてまいります。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		事業所内研修や資質向上のための勉強会を定期的におこなっており、外部研修にも積極的に参加しております。また、研修内容は全職員で共有し、職員の資質向上に努めてまいります。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		児童と保護者様のご意向や各関係機関との連携を踏まえて支援計画の見直しをおこない、客観的に分析した上で作成しております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童発達支援管理責任者を中心に、児童や保護者様のご意向を反映できるよう配慮しながら、全職員で検討しております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画を職員間で共有し、連携した支援をおこなっております。気づいた点は職員間で情報共有をおこない、支援計画に沿った支援をしております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		複数のアセスメントを使用し、全職員で情報共有しながら、個々の児童の適応行動の状況を多角的に確認しております。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせ、また、その児童に適切な項目を選択し、具体的な支援内容を設定しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		個別・小集団の支援を多角的に組み合わせるため、職員がチームとなり、「考える」「主体的」「個性」などを意識した、児童に合った活動を立案しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		児童の特性を考慮し、段階に合わせたプログラムをおこなっております。また季節感を感じられるような製作・行事などの活動を実施しており、内容が固定化しないよう心がけております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせ、個別性、多様性のある計画を作成しております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		前日の振り返りをもとに昼礼時に打ち合わせをおこない、役割分担の確認をおこなっております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。	6		支援終了後に全職員への周知が難しい場合には、翌日のサービス開始前に支援内容の振り返りをおこない、記録に残して情報共有をしております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎回活動の記録をとり、情報共有のうえ、支援の検証・改善につなげられるようにしております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングをおこない、目標の達成状況などを保護者面談にて詳しくご説明しております。保護者様のご意向をお聞きし、児童の現状を考えたうえで、見直しや支援の方向性を決めております。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童の状況を最も把握している児童発達支援管理責任者と、その児童と関わりが深い職員、専門職が同行しております。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		日頃から連絡や情報共有を密に取り、連携して支援できる体制を整えております。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		幼稚園、保育園への訪問などや、相談支援事業所、保護者様と連絡を密に取り、情報共有がスムーズにできるような取り組みをしております。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		就学時には児童の状況について電話連絡や訪問をおこない、情報共有・相互理解を図っております。	
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		研修会などに積極的に参加するようにしており、受けた助言などは職員間で共有しております。		
32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもも活動する機会があるか。	6		現在は、保育所や認定こども園、幼稚園などとの交流、障がいのない児童と活動する機会を設けることができずありません。	保護者様のご意向をうかがいながら、地域児童との交流の機会について今後とも検討してまいります。	
33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡アプリや送迎時にその日の療育内容や児童の様子をお伝えしております。また、保護者様からはご家庭での様子などを伺い、情報共有に努めております。		
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		保護者様の参加できる研修の機会はありましたが、保護者様からご相談を受けた際には、個別に助言をおこなっております。	今後、保護者様の参加できる研修の機会を検討してまいります。	
関係機関や保護者との連携	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に運営規定や利用者負担金について丁寧に説明しております。あわせて、質問や不明点がないかを確認しながら進めております。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者様のご意向や児童の課題に沿った支援計画を確認していただき機会を設けております。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		保護者様には支援計画の内容を丁寧に説明し、同意を得るようしております。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談が必要な助言と支援を行っているか。	6		ご家族様からの相談に対しては随時受け入れ、ご家族様や児童に寄り添った助言と支援をおこなっております。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。	6		過去には保護者様の参加型の行事を企画し、保護者様同士の交流の機会を計画・実施してまいりましたが、現在は実施しておりません。	保護者様のご意向を把握したうえで、今後の交流の機会について検討してまいります。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		児童や保護者様よりいただいたご意見は、全職員で話し合いの場を設けて共有し、迅速に対応できるように努めております。	
	41 定期的に通信等を行なうこと、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		公式Webサイトのブログで事業所の様子を伝えております。また、SNSでの情報発信や事業所より定期的に情報発信をしております。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童の特性に合わせ、分かりやすい情報伝達手段をとり、意思の疎通を図っております。また活動目的の一つに「自己表現活動」を取り入れ、自己表現力の向上へと繋がるよう努めております。保護者様にも伝え方や対応についてできる限り相手の立場に立った配慮をおこなっております。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		現在は交流活動を実施しておりません。	保護者様のご意向を把握したうえで、検討してまいります。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルを入り口付近の見やすい場所に掲示しており、職員・保護者様に周知しております。また、全職員で大規模な災害や感染症を想定した訓練を定期的に行っております。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画に沿って災害時に備え、防災グッズなどを整備しております。また、定期的な児童も参加して避難訓練を実施しております。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	6		契約時に必ず確認をおこない、緊急時には全職員が適切に対応できるよう共通理解を図っております。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示に基づく対応がされているか。	6		契約時に必ず確認をおこない、保護者様からの情報を全職員で共有し、万が一の場合にも医師の指示に基づいた対応をおこなえるよう徹底しております。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画に沿って、計画的に研修や訓練、事業所内外の環境整備をおこない、安全管理が十分におこなわれた環境の中で支援をおこなっております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		災害時の避難場所や対応などはあらかじめ書面に様保護者様に示しております。また、避難訓練での児童の様子をお伝えし、想定外の行動についても情報共有しております。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6		ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で共有をおこなっております。事例をもとに話し合いの場を設けて、再発防止に努めております。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に事業所内研修をおこなうとともに、外部研修へも積極的に参加し、全職員で情報共有し、虐待防止への意識の向上に努めております。	
	53 どうなる場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するために、やむを得ず身体拘束をおこなう場合は、あらかじめ書面により保護者様の同意を得ることとしております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。